

季節は巡り、瞬く間に一年の終わり師走を迎えました。

4月から始まった子どもたちの園生活も、今日まで大過なく無事、終わったことを心から感謝するばかりです。これまでの保育を振り返ってみますと様々な検討すべき議題や反省点が有り、例えば子どもたちの遊びや活動が、個々の発達の連続性に基づいたものであったかどうか！子ども一人ひとりが意欲や喜びを持って取り組んでいたかどうか！又、保護者の皆さまの切実な思いを、受け止め対応できていたかどうか等、数え上げればきりが無い程、沢山の課題が上げられます。それらの課題を解く鍵は、私たち保育者の子どもたちへの温かい関わりや眼差しであり、保護者の皆様への温かい対応ではないかと思えます。

子どもは、乳幼児期（0歳～6歳）自分を在りのままを受け入れ、信じてくれる大人の温かい思いに触れて、自己肯定感や自尊感情を育むことができるのではないかとされており、今後も職員が一体となって、人としての温かい感性を大切に子どもたちと関わっていければと思います。

さて過日（11月29日）保護者の皆様を対象に平成31年4月より幼保連携認定こども園移行の説明会を開催いたしましたところ、何かとご多用なところご参加頂きありがとうございます。

認定こども園は、今以上に教育を重点的に取り組むことが求められています。今迄でも体育遊び・音楽遊び等、教育的な要素を取り入れながら保育実践に努めてきましたが、これからも一層努めて参りたいと思います。その他、様々なことが以前の保育とは異なった内容になっており12月3日には（0・1歳）の保護者の皆様を対象に説明会を開催させていただきます。又説明会にご参加されなかった方々にも詳しい資料を配布させていただきます。又、ご不明な点が有りましたらご遠慮なくお問い合わせください。何卒よろしくご理解・ご協力の程お願い致します。